

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		真壁農業者トレーニングセンター管理運営事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030402000081	
						単独/補助	単独	所属課	090501	
政策体系	総合計画の施策名	0304 生涯スポーツ活動の振興				主要事業	対象外	グループ	スポーツ振興課	
	政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト	対象外			
	施策名	04 生涯スポーツ活動の振興				未来PJ事業	対象外	スポーツ振興G		
	基本事業名	02 スポーツ施設の充実と有効利用				合併建設計画事業	対象外			
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	06	01	09	03	00	真壁農業者トレーニングセンター管理事業			
法令根拠							単年度繰返し (昭和57年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>桜川市真壁町古城377に所在する(延床面積1,336㎡)建築物の真壁農業者トレーニングセンターを管理する事業である。 管理運営には、真壁体育館と併用して市職員1名、行政専門員2名、が常時勤務し、夜間管理員1名を非常勤職員として雇用している。 主な施設は、武道場(柔道・剣道・空手道等)及びトレーニングルームである。 料金は、武道場が市内在住者が500円、市外の方の利用は料金は2倍となっている。 トレーニング室は市内在住者が50円、市外の方は100円となっている。 使用時間は9:00~17:00 17:30~21:30</p>		<p>施設の維持管理、貸出、利用団体の調整 【担当者が行う業務の手順】 市職員業務：施設の維持管理、委託契約、利用調整、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付、夜間管理員の業務：施設の開閉、電話番、戸締まり確認、施設の見回り</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施設の維持管理、貸出、利用団体の調整	貸出日数	日	298.00	297.00	309.00	309.00	309.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民	人口(常住人口)	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
スポーツができる施設を利用できる。 スポーツを楽しみながら、健康づくりができる。	利用者数(トレーニングを除く)	人	7,732.00	6,012.00	0.00	0.00	0.00
	トレーニング室利用者数	人	2,100.00	2,266.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	196	71	180	180	180	0
		一般財源	千円	1,234	1,043	1,619	1,020	1,020	0
	事業費計(A)	千円	1,430	1,114	1,799	1,200	1,200	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	100.00	122.00	120.00	120.00	120.00		
	人件費計(B)	千円	290	354	348	348	355		
トータルコスト(A)+(B)				千円	1,720	1,468	2,147	1,548	1,555

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)			
	11 需用費	100		11 需用費	750		
	12 役務費	8		12 役務費	8		
	13 委託料	1,006		13 委託料	1,041		
		合計	1,114			合計	1,799

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	真壁農業者トレーニングセンター管理運営事業	事務事業No.	30402000081	所属課	スポーツ振興課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 真壁農業者トレーニングの建設に伴い、昭和57年9月から施設の利用が開始された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 備品の充実
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う 無駄のない施設活用のため利用調整の精度をさらにアップする。 雇用契約方法の改善や指定管理制度の導入により予算の削減につながる。 安全な管理をするうえで必要不可欠な工事費・修繕費等の予算獲得が困難な状況である。予算削減となる可能性の高いものとしては、雇用契約方法の改善や指定管理制度の導入が上げられる。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 真壁農業者トレーニングセンターの維持管理貸出で市民が「真壁農業者トレーニングセンターを利用してスポーツを楽しむ」ようになったことによって結果の「市民がスポーツを安心して行える環境の確保」スポーツを楽しむ機会の増加」に結びつく。
妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内にある施設を利用できることで利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくり、健康増進にもつながり税金を投入するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設の老朽化により修繕箇所が多くなっている。予算上すべてに対応できていないので向上の余地がある。また、真壁体育館と併用して管理するのではなく、危険性も高いため新たに臨時職員の雇用も検討する必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事項はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はほぼ管理費のみであり、人件費については専属の職員を置いていないので、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき、見直しを行い公平性が確保された。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを営むことができる。 トレーニング室の器具がかなり古く、全ての器具において修繕が必要となっている。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 無駄のない施設活用のため利用調整の精度をさらにアップする。 雇用契約方法の改善や指定管理制度の導入により予算の削減につながる。 安全な管理をするうえで必要不可欠な工事費・修繕費等の予算獲得が困難な状況である。予算削減となる可能性の高いものとしては、雇用契約方法の改善や指定管理制度の導入が上げられる。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑦ コスト削減優先度評価結果 ⑥

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---